

## 財産目録の概要

資産の部では、基本財産が前年度末に比べて98億1,192万5,415円減の217億6,661万7,165円となり、運用財産が前年度末に比べて99億5,310万5,804円増の201億4,179万7,478円となりました。資産の部合計は419億841万4,643円で、この金額は貸借対照表の資産の部合計と同額になります。

負債の部合計は37億1,429万641円で、この金額は貸借対照表の負債の部合計と同額となります。

資産の部から負債の部合計を控除した正味財産は、前年度末に比べて3億3,781万7,621円増の381億9,412万2円となります。

		(単位:百万円)	
資産	基本財産 21,766	運用財産 20,141	
負債・正味財産	負債 3,714	正味財産 38,194	

## 貸借対照表の概要

### ①資産の部

平成21年度、平成22年度の増減については、有形固定資産では、順正高等看護専門学校・2・3階の空調改修工事、創立者加計勉先生胸像設置工事等を実施したものの、機器備品の除却及び減価償却により約8億6千万円の減少となっています。その他の固定資産については、その他の流動資産よりその他の固定資産へ振替えたことにより約7億7千万円の増加となっています。

### ②負債の部

借入金返済等により約2億円の減少となっています。

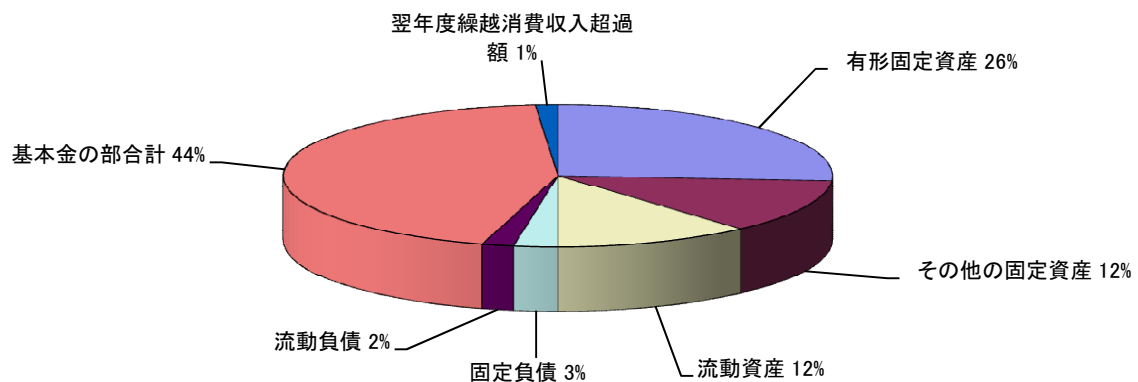
### ③基本金の部

機器備品・図書を購入と現物寄付（スクールバス）等及び第2号基本金組入れにより約3億3千万円の増加となっています。

### ④消費収支差額の部

平成22年度末では、消費収入超過額が約550万円の増加となっています。

貸借対照表構成グラフ

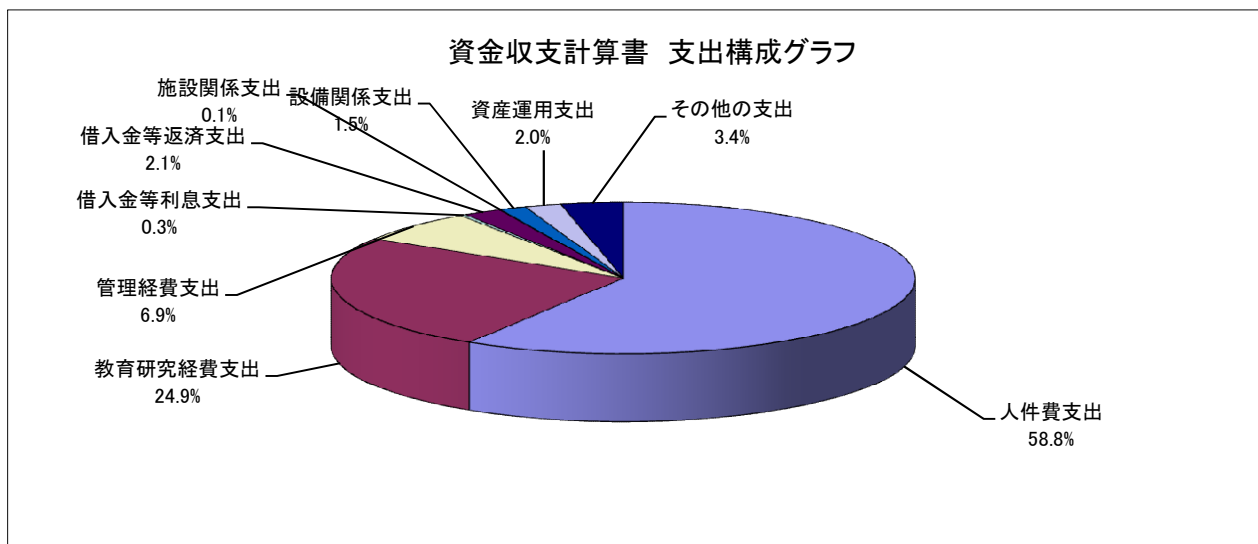
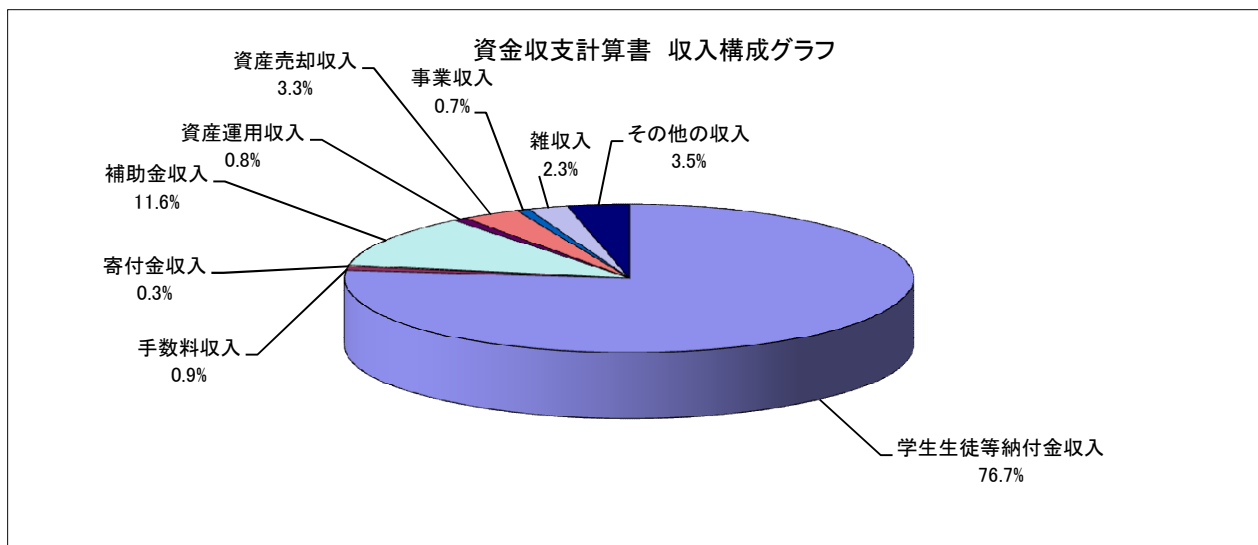


## 資金収支計算書の概要

平成22年度の資金収支計算書における予算との対比については、収入の部から学生生徒等納付金収入で約5千万円の増収、手数料収入で約6百万円の増収、補助金収入で約2千8百万円の増収、資産運用収入で約4百万円の増収、事業収入で約8百万円の増収となっています。

一方、支出の部では、教育研究経費で約1億7千万円の支出減、人件費と資産運用で夫々約1億円の支出増となっています。

この結果、次年度繰越支払資金は、約7百万円減となりました。

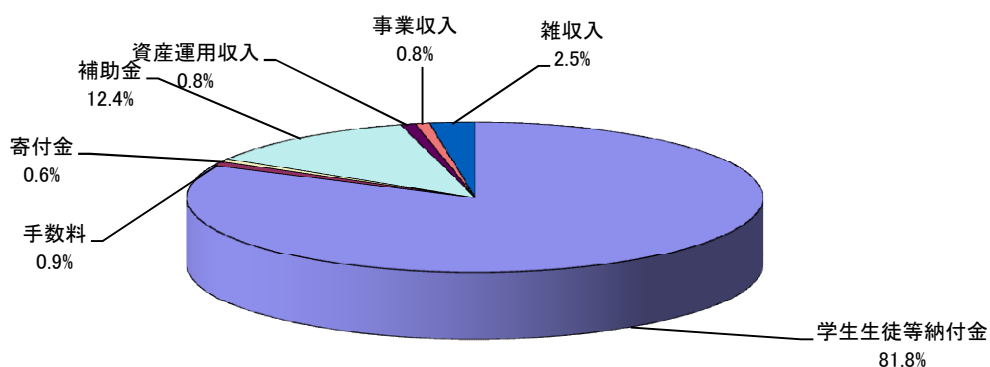


## 消費収支計算書の概要

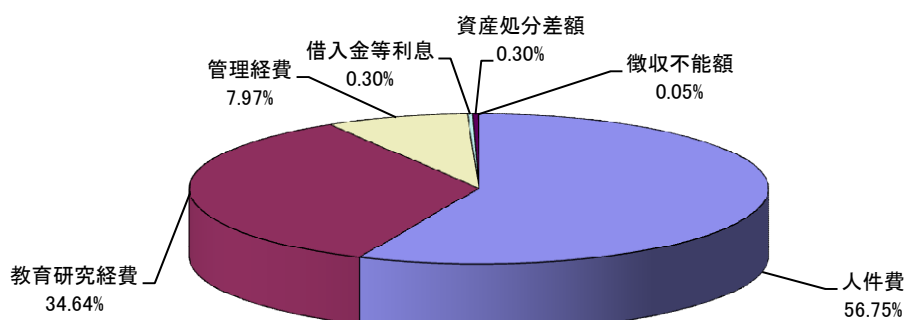
平成22年度の消費収支計算書における予算との対比について、帰属収入合計で約1億4百万円の増収、基本金組入額合計で備品除却のため約2千7百万円の減収となり、消費収入の部合計で、約1億3千2百万円の差異となっています。

一方、消費支出の部では、予算と決算額全体で約9百万円の差異となっています。この結果、翌年度繰越消費収入超過額が、約1億5百万円となりました。

### 消費収支計算書 収入構成グラフ



### 消費収支計算書 支出構成グラフ



## 資金収支計算書の科目について

### 1) 収入の部

#### ① 学生生徒等納付金収入

入学金・授業料・施設設備資金等の学納金収入です。

#### ② 手数料収入

入学検定料収入です。

#### ③ 寄付金収入

新入生寄付金・受配者指定寄付金・研究助成金等の収入です。

#### ④ 補助金収入

国からの「私立大学等経常費補助金」「教育研究高度化推進特別補助金」、岡山県・宮崎県からの「看護師等養成所運営費補助金」等の収入です。

#### ⑤ 資産運用収入

受取利息・施設利用料収入です。

#### ⑥ 事業収入

寮費収入・学食収入・受託事業等の収入です。

#### ⑦ 雑収入

私立大学退職金財団交付金等です。

#### ⑧ 前受金収入

平成23年度入学生の学納金です。

#### ⑨ その他の収入

平成21年度未収入金回収収入・預かり金収入等です。

#### ⑩ 資金収入調整勘定

平成22年度未収入金・平成21年度に受けた学納金等です。

#### ⑪ 前年度繰越支払資金

平成21年度からの資金繰越金です。

### 2) 支出の部

#### ① 人件費支出

教職員の人件費です。

#### ② 教育研究経費支出

教育・研究に要する経費で、主に以下のものが含まれます。

- ・授業に際しての教材費、情報教育の充実のための情報機器のリースや最新ソフト購入経費。

- ・教育研究を主とした施設・設備の維持管理に必要な保守清掃費・修繕費等の経費、冷暖房・照明等の光熱水費。
- ・教育実習施設への謝礼報酬等。
- ・学生の健康診断等の福利厚生費、留学生への学生生活支援経費、学業優秀者や体育活動の活躍者への奨学費。
- ・キャリアガイダンス、就職ガイダンス、各種就職相談等の就職活動支援経費。

③管理経費支出

教育・研究を間接的に支援するための施設・設備の維持管理経費。

④借入金等利息支出

平成22年度に支払をした利息です。

⑤借入金等返済支出

平成22年度に返済した借入金元金です。

⑥施設関係支出

学園創立者胸像設置工事（吉備国際大学）、他空調改修工事費等です。

⑦設備関係支出

教育用機器備品・図書費が主なものです。

⑧資産運用支出

施設・設備取得のための積立金です。

⑨その他の支出

平成21年度未払金・預かり金の支払です。

⑩資金支出調整勘定

平成22年度未払金・平成21年度の前払金です。

⑪次年度繰越支払資金

平成23年度への資金繰越金です。

# 財 務 分 析

## 1. 財務比率推移表

区 分		2008年度	2009年度	2010年度	全国平均
比 率	算 式				
人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	53.2%	54.8%	54.5%	52.6%
人件費依存率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	63.8%	66.2%	66.6%	72.4%
教育研究費比率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	35.0%	35.8%	33.3%	30.9%
管理経費比率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	7.4%	7.1%	7.7%	10.3%
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	4.0%	1.1%	3.9%	3.7%
消費収支比率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	101.8%	101.7%	99.9%	110.8%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	83.4%	82.8%	81.8%	72.7%
補助金比率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	11.6%	11.5%	12.4%	12.9%
基本金組入率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	5.6%	2.7%	3.9%	13.1%
自己資金構成比率	$\frac{\text{自 己 資 金}}{\text{総 資 金}}$	90.5%	90.6%	91.4%	86.8%
流動比率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}}$	517.5%	575.8%	622.2%	232.7%
負債比率	$\frac{\text{総 負 債}}{\text{自 己 資 金}}$	10.5%	10.3%	9.7%	15.2%
基本金比率	$\frac{\text{基 本 金}}{\text{基 本 金 要 組 入 額}}$	96.5%	96.9%	97.0%	96.9%

(注)全国平均は、日本私立学校振興・共済事業団「平成22年度版 今日の私学財政」の平成21年度を引用しております。

### ○財務概要

2010年の帰属収入は85億5,676万円余で、前年度比較で1%の増収となりました。主な収入内訳は学生生徒納付金収入70億200万円余(前年度比96%)、補助金収入10億6,279万円余(前年度比105%)です。一方、消費支出は82億1,895万円余で、前年度比較で5%減となっています。主な支出内訳は、人件費46億6,459万円余(前年度比97%)、教育研究経費28億4,665万円余(91%)、管理経費6億5,473万円余(前年度比106%)となっています。

学納金に占める割合の殆どが人件費と教育研究費で、2010年の人件費比率は54.5%(全国平均比104%)、教育研究費は33.3%(全国平均比108%)です。少子化と経済低迷の影響等により、学生生徒納付金収入が年々減少傾向にあるものの、上記表に示した日本私立学校振興・共済事業団発行の平成22年度版「今日の私学財政」医歯系を除く私立大学法人の平均値と比較すると、本学の財務状況は全般的に良好に推移していると思われます。

## 2. 財務比率推移グラフ

